



ガソリン携行缶等の取り扱いについて



福知山市花火大会において発生した火災事故はガソリンの携行缶から自家発電機に給油しようとした際、気化したガソリンに鉄板の火が引火したことが原因でした。現場で使用することもあるので危機管理の重要性を十分に理解し、正しく安全に取扱いましょう。



【ガソリンの特性】

- ・ガソリンは、気温が -40°C でも気化し引火します。(※ガソリンは通常気化した形で燃焼します。)
- ・ガソリンは、静電気や少しの火花などでも簡単に引火し、爆発的に燃焼します。
- ・ガソリンの蒸気は空気より重く、穴やくぼみにたまりやすく、目に見えません。

【取扱時の注意事項】

- ・万が一のため、消火器を必ず準備しましょう。
- ・灯油缶等のポリエチレン容器にガソリンを入れないでください。ガソリンを入れる携行缶は、消防法令に適合した金属製の容器を使用してください。
- ・ガソリンを携行缶に入れて、保管することは極力避けてください。やむを得ず保管する場合、容器は密栓し、日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。夏期はガソリンの温度が上がり圧力が高くなる可能性があります。取り扱いには、取扱説明書等にかかれた容器の操作方法に従い、細心の注意を払いましょう。
- ・漏れ出た場合は少量であっても回収・除去を行うとともに、周囲の火気使用の禁止や立ち入りの制限等が必要です。衣服や身体に付着した場合は、直ちに水と石けんで洗い流しましょう。
- ・発電機等使用時には取扱説明書をよく読み適正な取扱いをしてください。また、エンジン稼働中の給油は絶対に行わないようにしましょう。
- ・セルフ式ガソリンスタンドでは、利用者が自らガソリンを携行缶に入れることはできません。



緊急地震速報『利用の心得』



8月8日に発表された緊急地震速報は誤報でしたが、速報を受け取った際、皆さんはどのような行動をとられたのでしょうか。即座に身の安全を確保する行動がとれたのでしょうか。

緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

また、この短い間に行動を起こすためには、**緊急地震速報が発表されたことを即座にわかるよう専用の音（報知音）を覚えておく**必要があります。

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、

- **まわりの人にも声をかけながら**
- **あわてず、まず身の安全を確保する！！**

地震の揺れを感じる前に緊急地震速報を見聞きした時も、緊急地震速報を見聞きする前に地震の揺れを感じた時も、行動内容は同じです。ふだんから、家屋の耐震化や家具の固定など、地震に備えましょう。